

## 中国人はなぜ社交ダンスを踊る？—国民的スポーツのジェンダー史 大浜 慶子（中国）

中国で社交ダンスが息の長い大衆娯楽として、また健康づくりの一環として民衆に大変親しまれてきたことをご存じですか？なんと国内に3,000万人もの愛好家があり、街中の公園や広場で男女が手を取り合って愉快地踊る光景を全国津々浦々でみることができます。日本で一世を風靡した映画「Shall We ダンス？」を北京の大学生に見せたところ、「日本の男性はなぜあんなにコソコソしながら踊っているのですか？」と、皆理解に苦しむといった表情を浮かべていました。社交ダンスの醍醐味は男女が対になって踊るペアダンスにありますが、どこか気恥ずかしさを覚えがちな日本人とは対照的に、中国ではペアダンスに対してもオープンな考え方をもっていることがわかります。中国は古来より「男女の別」を厳しく説いてきた儒教の国です。いつどうやってこの風俗が改変され、ペアダンスが国民的な娯楽として定着するようになったのでしょうか？中国の社交ダンスの系譜を紐解くと、興味深いジェンダー史が浮かび上がってきます。

社交ダンスは近代に西洋から海を渡って伝来しました。日本では鹿鳴館の華やかな舞踏会で知られていますが、中国の要人は自国の礼法の優位を信じて疑わず、最初この舶来文化に見向きもしなかったのです。西太后も終始反感を示したとされます。20世紀初頭、近代学校の体操課の授業に日本からダンス教育が導入されました。社交ダンスが中国の人びとに受け入れられるようになるのは中華民国期以降のことです。1910年代に新文化運動や女性解放運動といった大衆運動が広がり、伝統的儒教規範や家父長制が批判されました。この時浸透した男女平等や自由恋愛、自由結婚、近代核家族観などの対の言説が社交ダンスを受容する風土を醸成していったと考えられます。都市の学校や公共スペースでは男女混交が進み、男女の新しい交際術が議論を呼んだのです。社交ダンスはくしくも



中華民国時代の上海舞女画

「交際舞」と命名されました。「交際舞」は30年代、上海の租界地でエンターテインメント産業として発展し、爛熟期を迎えました。職業化された「舞女（女性ダンサー）」が登場し、脚光を浴びたのです。舞女の多くは戦禍を逃れ日銭を稼いで生計を立てる貧家出身の女性たちで、舞女と踊る都市中間層の男性との間には依然として階層や性の非対称な構造が横たわっていました。

中華人民共和国が成立し、社会体制が変わりダンスホールや舞女は廃業に追い込まれましたが、社交ダンスは踊り継がれたのです。1950年、結婚の自由や一夫一婦制に基づいた新婚姻法が制定され、中国の男女はより対等な関係として向き合うことになり、社交ダンスも友誼や親睦を深めるといった意味合いの「交誼舞」に改称されました。この時期もまだ男性愛好家の割合が女性より多かったといえます。やがて中国は文革に突入し、人びとのジェン

ダー表出が消し去られる「無性化」時代が訪れ、社交ダンスは禁止されました。

しかし、1978年改革開放直後、人民大会堂で催された新春交歓会で禁忌を破り社交ダンスが披露されたというニュースが駆け巡ると、瞬く間にダンスブームが再燃しました。新時代到来の息吹を敏感に感じ取った民衆は、封じ込められていた自由への渴望を爆発させるかのように街中へと繰り出し、何万という群衆をダンスの渦に巻き込み、熱を感染し合っ大ブームを作り出しました。男性たちは個性と若さの象徴であるスニーカーとベルボトムジーンズをはき、女性たちはグレーのズボン脱ぎ捨て、色とりどりの軽やかなワンピースを纏ってダンス会場へと向かいました。新風俗とジェンダーアイデンティティーの模索が始まったのです。



北京三里屯で踊る市民

異性愛言説が生まれ、信奉された前世紀、中国の民衆のファンタジーを紡いで踊り続けられた社交ダンスの物語は今、アジアでトップレベルに成長した競技ダンスや「国標舞」の舞台芸術の中に昇華されています。

では現在、民衆の社交ダンスはどうなっているのでしょうか？80年代より洗濯機、冷蔵庫が普及し、煩雑な家事から解放された既婚女性が大挙してダンスを習い始め、いつしか女性の数が男性を大きく上回るようになりました。男役を買って出る女性が増え、中高年の女性たちは倒錯的なダンスを楽しんでいます。今世紀、中国の女性たちは男女一対という社交ダンスの枠やジェンダー規範にとらわれない、世代を超えて親密にコンタクトし合える新しいダンスの形を創ろうとしているのかもしれませんが。